

	講義名	受講者
1	施工管理の魅力と働き方会社朝礼/ コミュニティーミーティング	新入社員 2年目
2	顧客・協力会社とのコミュニケーションスキル/ 業社手配・発注方法/現場朝礼と昼礼、鍵閉め	
3	施工計画書の書き方・考え方、戸建て住宅の工程表を作成/ 設計図通りに作ればよいわけではない/仮設計画その他	
4	見積の作り方、見方、実行予算の組み方(原価管理)	
5	地鎮祭開催の時期、準備と司会台本読み/ 近隣事前挨拶と工事中の挨拶/トラブルに対する対応、騒音対策	
6	計測機器の実地研修 その1	
7	事故を防ぐための取組み(安全管理)/ 具体的な方法をケーススタディーで学ぶ	
8	地縄張り、丁張・遣り方、墨だし/ 実地研修 その1	新入社員 2年目 3年目
9	工程内検査と第3者確認で手戻り防ぐ/ 材料や工法が基準を満たしているか確認/共通仕様書の読み方	新入社員 2年目
10	施工図の書き方と、該当工事	
11	定例会議は色決めが目的ではない/ 追加変更が出た際の対応、変更見積の作成方法	
12	工事掛け持ちの体制や、シニアエキスパートの存在について/ 建設ディレクター、総務のサポート内容(関わり方)	
13	プレカット図及び施工図のチェック	
14	ISO 9001 14001の内容 環境配慮	
15	基礎のアンカーボルト、ホールダウン金物の打設前チェック(実地研修)	
16	現場の整理整頓が受注アップ、残材の処分/看板シートの掛け方/ 職員の横のつながり、協力体制について/カタログの見方、サンプルの取り方	新入社員 2年目 3年目
17	地縄張り、丁張・遣り方、墨だし/ 実地研修 その2	
18	サッシ、木製建具、防水と通気、断熱気密の納まりチェック	新入社員 2年目
19	完了検査と引渡書類/ ISO書類整理と竣工図	新入社員 2年目 3年目
20	計測機器の実地研修 その2	
21	完成時に工事を振り返りフィードバック作成/アフターメンテナンスと小工事/ 顧客への請求書提出/業者請求書のチェック	新入社員 2年目
22	SWS試験、ボーリングデータの読み方、お客様への伝え方	新入社員 2年目 3年目
23	社内外講義	新入社員 2年目
24	社内外講義	

経験ゼロからプロへ
木造非住宅の社内大学



YAGIビルドアカデミー

YAGIビルドアカデミー

開校のご案内

2026年7月開校



経験頼みから体系的な人材育成へ



人材育成に新しい答えを。

これまで、企業は働きながら教える時間が足りない。

気づけば職人任せで、誤ったやり方さえ正しいと受け継がれ、

若手は不安を抱えたまま現場へ。

関係者との向き合い方を誰にも聞けず、一人で悩んでしまう――。

そんな育成に、体系的に学び、安心して成長できる環境が求められていました。

その想いからYAGIビルドアカデミーが開校しました。



YAGIビルドアカデミー

ロゴデザインコンセプト

マークのデザインは、木造非住宅を推進する姿勢を表す木造ビルと日本で最も親しまれる杉の葉をモチーフに学びと成長をデザインに込めています。

開校の目的

アカデミーでは、入社1年目で基礎的な社会人経験を積んだタイミングから、現場で直面する知識や判断力を事前に学びます。2年目には、木造戸建て住宅の現場責任者に必要な専門知識やコミュニケーションスキルを身につけることを目的としています。

メリット

- 1 教育体制・カリキュラムの見える化で安心して学べます。
- 2 一連の業務プロセスを事前に理解することで、「いきなり責任者になる不安」を解消できます。
- 3 先輩社員任せのOJTに頼らず、正確で再現性のある知識を習得できます。
- 4 講義内容は口頭だけでなく、いつでも見返せる資料として提供します。
- 5 同期と同じ環境で学ぶことで、仲間意識が深まり、人間関係の基盤を築けます。



現場で活躍できる力を1年で育てる社内学校

更なるキャリアアップを目指せるアカデミー

アカデミーでは、基礎から現場スキルまでを習得し、2年目には木造住宅の責任者として独り立ちできる実力を養成します。3年目以降は、より高度なマネジメントを目指すキャリアアップの道が開かれます。

現場責任者の3大スキルが体系的に学べる

現場で不可欠な「知識・判断力・コミュニケーション力」を事前に体系的に習得。学びがすぐに実務に活かせる“育成の道筋”を明確にし、成長を実感できる仕組みを構築しています



〈1年目編〉 “現場で通用する力”の3つの柱を習得

1 職人さんとの関係構築方法

協力会社との適切な距離

現場を共に進める職人さんは、頼れる専門家であり、大切な仲間。工事監理者と施工者としての適切な距離感を保ち、円滑な現場運営につながる関係づくりの基本を学びます。

2 顧客への対応方法

施工管理職はお客様と協力会社をつなぐプロデューサー

施工管理職は、図面や見積書通りに工事を進めるだけではありません。お客様の想いを汲み取り、満足を超える感動を与える仕事をするため、提案力と対応力を磨きます。

3 実践的な技術・知識

経験豊富な職員から細かく指導

建物は基礎から始まり、その高さや位置の精度がすべての品質を左右します。正しい計測の方法や、誤差・ミスを見抜く力を身につけ、現場で信頼される確かな技術を学びます。